

八学短大生 八戸小唄流し踊り あでやかに

八戸 毎年7月中旬に八戸市中心街で行われる「八戸小唄流し踊り」が新型コロナウイルスの影響で中止となったことを受け、八戸学院大短期大学部幼児保育学科は17日、例年踊り手として参加している同科1年生約90人に練習の成果を披露してもらおうと、同科ホールで発表会を開いた。ホールには学生が手作りした吹き流しや、ちょうちんが飾られ、

夏祭りムード満点。

学生たちは華やかな浴衣に身を包み、同校教職員や上級生を前にあでやかな踊りを約30分間披露した。

同科1年の代嶋清絵さん(25)は「休校中はオンラインで動画を見ながら踊りの練習をした。催しが中止になったのは残念だけど、成果を見せられてうれしい」と笑顔で話した。

(松橋広幸)



八戸小唄流し踊りを披露する学生